



### 国公立大 前期日程試験 ～57 期生～

本日2月25日(金)から国公立大学の前期日程試験が実施されました。本校57期生も、254名が出願しました。鹿児島大学には最多の159名が出願しました。

共通テスト後の個別試験対策の39日間は、これまでに経験がないほどの質と量の演習を通して、自分の実力の伸びを自覚できた人も多かったことでしょう。国公立大学の前期日程の合格発表は3月1日(火)以降、順次行われます。吉報を待ちたいと思います。

また、前期日程終了と同時に、中期・後期日程試験に向けて再スタートを切ります。4日後には卒業式という一つの区切りを控えています。まだまだ戦いは続きます。気を抜くことなく、頑張れ57期生!

### 進級に向けた準備を ～58・59 期生～

学年末考査が終わりました。ほっと一息つきたいところですが、注意が必要です。3月から5月にかけては、高校入試の自宅学習期間、春休み、GWなど授業がない日が多いのです。また、3月から4月にかけて「成績が低迷する」人が多いのも事実です。これは模擬試験成績データを見ても明らかです。

このような時期だからこそ、「自主的な学習」が重要です。今年度の学習内容を振り返り、定着度を確認し、新学年に向けた準備期間にしましょう。特に58期生は、この時期を「3年ゼロ学期」と捉えましょう。なぜなら、9月には共通テストの出願をするからです。もう「受験イヤー」なので、1年後に笑顔でいられるよう、「受験生」という自覚を持ちましょう。また、6月以降は部活動を引退した生徒は放課後自習に取り組みます。部活動に充てていた時間をそのまま学習時間へと切り替えるためです。その後は放課後課外へとシフトし、2次力を高めていきます。

以下に、57期生から聞いた、「大学や学部決定の決め手」を示します。

- ・歴史や哲学を幅広く学びたかったから。
- ・学びたい領域の研究に特化した研究室があるから。
- ・昨年「新発見」が報じられた研究室で学びたいから。
- ・情報社会を支える工学知識を基礎から学びたいから。
- ・憧れの家族と同じ業種に飛び込みたいから。

言葉こそ平易ですが、強いこだわりや明確な目標がうかがえます。共通テストの結果を受け、自分の希望をも

う一度見つめ、揺るがぬ決意で準備を進めていった57期生の姿に受験時の自分の姿を重ねてください。

ところで、高校1年生と2年生は、高校3年生と同じくらい具体的には進路を考えることができないのも事実です。そこで必要なのが「数値目標」の設定です。1月模試の結果を踏まえて、「いつまでに」「どの教科のどの分野で」「何点」伸ばすのかを設定してみてください。前述のとおり、成績が低迷しやすい時期がやってきます。そこで踏みとどまり、主体的に勉強する意欲を引き出すためにも、具体的な目標設定は有効です。詳しくは『進路指導室だより7月号』を読み直してください。「課題の分割」と「OODAループ」に「数値目標」を加え、高い意識を自ら作り上げましょう。

### 「大学入学共通テスト」情報

先日実施された大学入学共通テストについて、いくつかの分析が示されています。以下に、代々木ゼミナールによる分析を一部抜粋して紹介します。

国語	複数のテキストや生徒の学習過程(教師と生徒の対話形式)を意識した問題が出題されている。
数学 I A	誘導が減り、計算量も増加したため、処理しなければならぬことは増加した。
数学 II B	従来のセンター試験と比較して計算量は若干減少したが、問題文をしっかりと読んで丁寧に考察しなければならぬ問題が多かった。
英語 R	英文、リード文、図表等の総語数は昨年から約500語増加し、約4400語。
英語 L	設問および選択肢等の総語数は昨年から約100語増加し、約800語。

参考【<https://sokuho.yozemi.ac.jp>】

模擬試験や共通テスト対策演習でもトレーニングを重ねてきたため、出題方法に対する動揺は抑えられたのではないのでしょうか。しかし、扱う「情報量」の多さに苦しんだ受験生も多かったようです。

58・59期生は「読む速さ」「理解する速さ」「考察する速さ」を意識した学習を心掛ける必要があるでしょう。一つ注意したいのは、「特別な対策」ばかりを求めてはいけないということです。全ての理解や正解につながるのは、「語彙力」であり「計算力」であり「表現力」です。これらを高め、「圧倒的な基礎力」をベースに次の学年、そして受験に向かってください。

## 「漫画家十訓」

私にとってもスマホは手放せないツールであり、Twitter は情報収集に欠かせないものとしてかなり使用している。手に入るものは「最近のニュース」や「経済情報」、「スポーツの速報」や「本当かどうか怪しいネットのうわさ」など多岐にわたるが、「誰かが描いたイラスト」を眺めるのも習慣となっている。

キャラクターを描く人がいたり、漫画を描く人がいたり、風景画を描く人がいたり、時には実写と間違えるような精巧な絵を描く人がいたり、様々なものが目を楽しませてくれる。

残念ながら自分には全くと言っていいほど絵の才能がないので、「どうやったらここまで上手に描けるものなんだろうか」「才能がある人たちはいるんだなあ」と常々不思議に思っているのだが、最近面白いものを目にした。それは

## 「漫画家十訓」。

漫画家の島本和彦さんが作品内で出したものなのだが、引用すると以下の通り。

「1：命がけで描け、2：限界を超えて描け、3：夢を見て描け、4：自信をもって描け、5：思い切り描け、6：喰うのを忘れて描け、7：よく寝てから描け、8：明日も描け、9：最後まで描け、10：失敗したら 新しいのを描け」

あくまで個人の思っていることであり、今の時代に即して考えるとちょっと極端な表現もある。「漫画作品のセリフを真に受けてどうするの」という意見もあるだろう。ただ、ここまで突き詰めてやろうと思えばそりゃ上達するよなあ、と妙に納得してしまっ、突き詰めもせずに「絵の才能ないなあ」とか思っている自分が申し訳なくなった。（決して絵描きになりたいという訳ではないので悪しからず）

無理やりかもしれないが、「描け」を「勉強しろ」に置き換えても同じことで、本当に上達したいのであれば突き詰めなければいけない時があるのだろう。そこまで本気にできるか、する勇気があるか、そのあたりに分かれ目があるのだと感じた。

高校時代にどうしても点数で上回ることができなかつたある同級生と自分の違いも、もしかしたらこの十訓のなかにあったのかもしれない。

「1：命がけで勉強しろ、2：限界を超えて勉強しろ、3：夢を見て勉強しろ、4：自信をもって勉強しろ、5：思い切り勉強しろ、6：喰うのを忘れて勉強しろ、7：よく寝てから勉強しろ、8：明日も勉強しろ、9：最後まで勉強しろ、10：失敗したら 新しいのを勉強しろ」

1年生がもうすぐ終わる。あと2年で大学入試が来る。

みんなはどうだ。自分の中になにか「十訓」を決めて実践してみないか？

## これからの勉強術

2年1組 担任 林 裕史

2月に入り3年生は今、国公立大学の個別学力検査に向けてがんばっています。次はみなさんが「受験生」となる番です。「受験生」としての適切な学習スタイルを身につけるために、これからの勉強術について考えてみましょう。

### 1. 「締切効果」を活用せよ

成功者と呼ばれる人たちは、必ず締切効果を活用しているものです。人生を大きくとらえると「そのうち、なんとかなる」のも事実です。しかし、受験期に「そのうちに」とは言えません。目標に向かって勉強をしているこのときも、「なんとかなる」は禁句なのです。「締切効果」を爆発的に発揮させるには、

- ①明確、具体的な時間、期限の設定をすること
- ②何が何でもその時間(期限)までにやり遂げる信念を持つこと
- ③時間と期限は、自分が考える能力を少し超えたところに設定することが大切になります。

### 2. 「時間力」を身につけよ

個人差もあると思いますが、人間が集中できる時間は20分間くらいだということが、心理学の研究でわかっています。1時間続けて勉強するよりも、20分間の勉強を3回繰り返す方がよいということです。もうひとつ押さえておきたいことは人間の脳は、苦痛を感じるようなものについては、飽きっぽいということです。勉強を長くやっている割には成績が上がらない場合は、苦痛感を持ってやっていないか疑ってみましょう。苦痛感があるということは、ストレスを感じているということです。ストレスは学習能力を低下させる大きな要因です。

ですから、苦手な科目を勉強するときには、長くダラダラやるより、短時間で早く切り替える方が能率はよいと言えます。大切なことはケジメです。「20分間でここまでやる」と決めたら、たとえ途中であってもそこでピタッとやめること。これがポイントです。

### 3. 「隙間」に勉強を詰め込め

1日24時間と決まっている時間にも「隙間」はやはりあって、その活用の仕方、各自の能力の差はどんどん広がっていきます。できる人ほど、時間の隙間を上手く使って「時間をつくる」工夫をしているものです。

ところで、「運命は変えられるかどうか」について、皆さんはどのように考えますか。「運命は変えられる」という考え方と「運命はすでに決まっていて変えられない」という考え方があります。どちらが正しいのか分かりません。問題は「どちらが正しいか」ではなく、自分は「どちらの考え方を選ぶか」なのだと思います。私は「運命は変えられる」と考えるようにしています。運命は「命を運ぶ」と書きます。自分のこの生命を運んだところに起こる現象を運命と呼ぶのです。その「命」を運ぶ元になるのが「心」です。その「心」に何を入れるか、何が入っているかで、命の運び方、つまり「運命」が変わっていくのです。マイナス思考の多い人は命の運び方もマイナス方向に傾きがちで、結果的に、マイナス現象に出会いがちになります。逆に、プラス思考の多い人は命の運び方もプラス方面になることが多く、プラスの現象に出会う確率が高くなるのです。

話を時間に戻すと、「隙間時間を見つけたら、その時間に自分が何をするかを具体的に考えておくことが大切です」ということです。逆に、具体的に何の勉強をするのかがわかっているのなら、すぐに隙間時間を見つけられるでしょう。あとは、それを実行すればいいだけです。ここに気づけば、あなたは確実に成果をあげることができると思います。